4 月 1 日　三重県南東沖の地震
地震・津波観測監視システム（DONET）による観測結果（速報）

平成 28 年 4 月 1 日

国立研究開発法人防災科学技術研究所
国立研究開発法人海洋研究開発機構

2016 年 4 月 1 日 11 時 39 分頃に三重県南東沖で北西-南東方向に圧縮軸を持つ逆断層の地震が発生しました。南海トラフに計 50 観測点設置された地震・津波観測監視システム（DONET）はこの地震とこれによる小さい津波を観測しました。今回の地震は DONET1 の E エリアで発生しています（図 1）。図 2 は強震動上下成分の原波形記録で、明瞭な地震動が記録されました。図 3 は水圧計記録です。短い周期の地震による震動のあとに長い周期の波が観測されています。これが津波の記録で、約 1cm の高さに相当します。

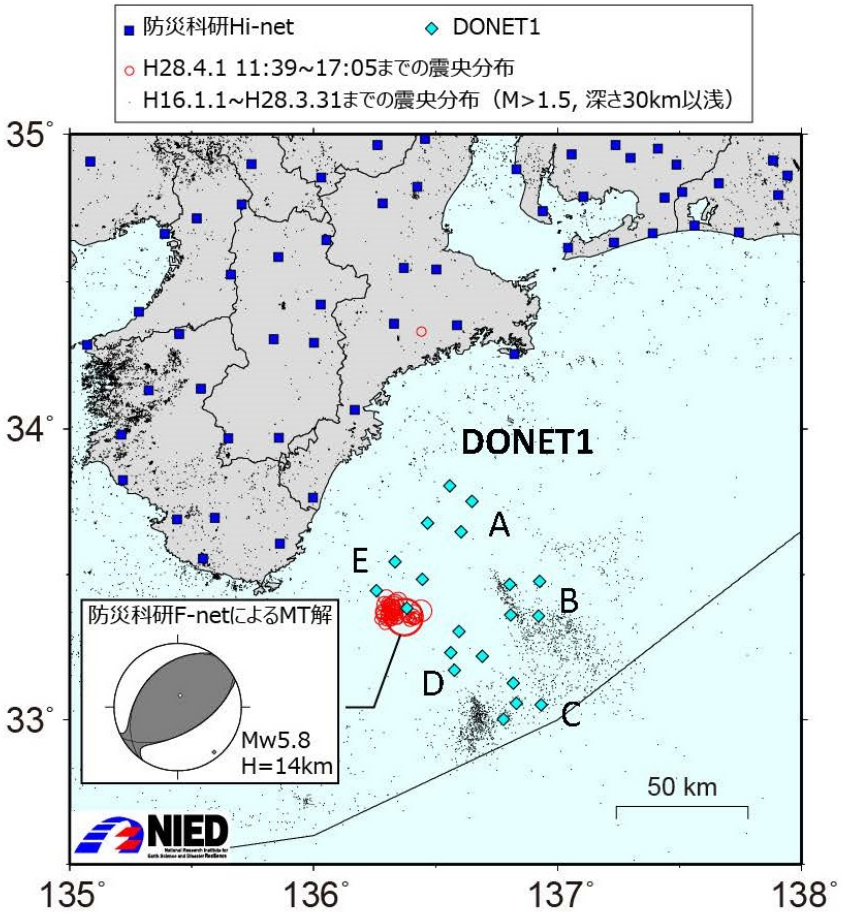

図 1　DONET 観測点と震源分布。図中のアルファベットは DONET の観測点が配置された 5 つのエリアを示す。

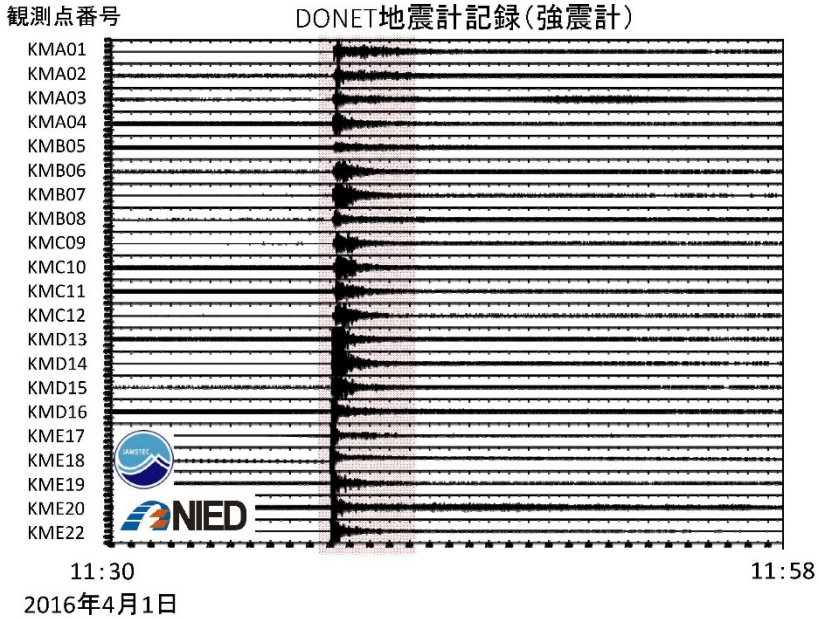

図 2 DONET1 の 21 観測点の強震動上下成分記録。明瞭な地震動が記録された（赤部分)。

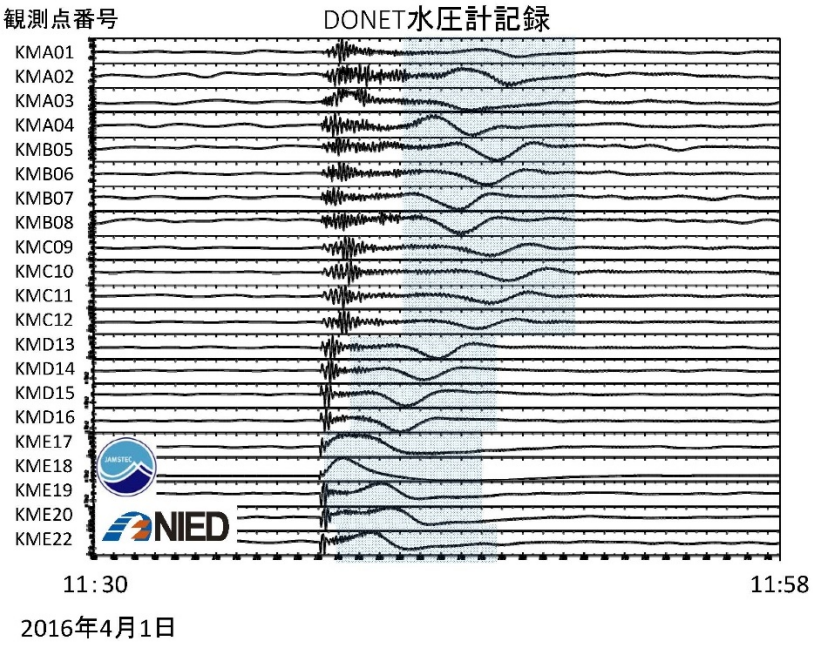

図 3 DONET1 の 21 観測点の水圧計記録（100-1000 秒のバンドパスフィルターを適用)。短周期の地震動の後続部分に記録された周期の長い波形が津波発生を示す（青部分)。DONET で観測された津波高は約 1cm である。

注：DONET は海洋研究開発機構が整備し、本日より防災科学技術研究所に移管、運用されています。両機関が連携して、DONET の運用を行い、共同で南海トラフ海域の地殻活動研究を進めます。